

20. ^{99m}Tc -ECD (split-dose 法) と静脈採血による
Diamox 負荷脳血流 SPECT の定量化 小田野行男他 39
21. 急性期脳梗塞における脳血流 SPECT と MR 灌流強調画像の比較 畑澤 順他 39
22. 磁気共鳴拡散強調画像による脳虚血病変の描出について
——SPECT との対比—— 松沢 等他 39
23. Tl 脳 SPECT における Index の検討 白石 貴稔他 40
24. TEW 法適応による雑音増大を抑制する新手法について 久保 直樹他 40
25. GCA9300A/HG におけるファンビーム高分解能コリメータを使用した
 ^{67}Ga 脳 SPECT の検討 山岸 仁他 40
26. SPM96 による日本人欧米人脳標準化結果の比較 伊藤 正敏他 40
27. Spine posterior elements に初発したと思われる骨転移について 中村 護他 40

一 般 演 題

1. ^{99m}Tc -MIBI による副甲状腺機能亢進症の評価

武内 周平 長沢 研一 山本和香子
秀毛 範至 薄井 広樹 油野 民雄
(旭川医大・放)
山口 聡 金子 茂男 八竹 直
(同・泌)

今回われわれは、副甲状腺機能亢進症と診断された12例(男性6,女性7)に対して、 ^{99m}Tc -MIBIを用いた副甲状腺シンチグラフィを施行し、 ^{99m}Tc -MIBIの診断能を評価するとともに、Tlとの診断能の比較を行った。

Sensitivityでは、MIBIのEarlyで68%, Delayで79%とTlの57%に比べ良好な結果を示した。Accuracyは順に、55%, 62.5%, 47.5%となり、Specificityはいずれも100%であった。それぞれ、Tlに比して良好な結果が得られた。

また、異所性の副甲状腺の描出が良好であった。

さらに、washoutは、甲状腺と比し有意に($p < 0.0001$)遅く、後期像において良好なコントラストが得られた。

2. Sipple 症候群 6 例の ^{131}I -MIBG scintigraphy

村田 隆紀 高井 憲司 吉田 征之
丸岡 伸 山田 章吾 (東北大・放)
山崎 哲郎 (秋田脳研・放)

Sipple 症候群の1家系5例を含めた6例につきMIBG所見と手術所見を比較し、MIBGの集積の有無につき検討した。対象の内訳は副腎褐色細胞腫4症例6腫瘍、甲状腺髄様癌6症例8腫瘍、男性4例、女性2例、年齢19-71歳、平均40.7歳である。副腎褐色細胞腫はすべてMIBGで描出された。甲状腺髄様癌のMIBG陽性例は2症例2腫瘍のみと従来の報告と同様に描出率は低かった。甲状腺髄様癌のMIBGの取り込みは単に腫瘍の大きさや内分泌検査などで一義的に決定されるものではなく、腫瘍の発生部位や腫瘍の重量、腫瘍の分化度などの病理組織学的特徴が影響することも考えられ、さらなる検討が必要と思われた。

3. 骨塩量測定 (DEXA) に及ぼす骨シンチグラフィの影響

伊原 康二 木戸 隆
(札幌鉄道病院・中放)
伊藤 和夫 (同・放)

骨シンチグラフィ後に骨塩量計測を行う場合、骨